

地域包括ケア病棟入院料等の施設基準に係る届出書添付書類

保険医療機関名 _____ 病棟数 _____ 病床数 _____

届出時入院患者数 _____ 人

看護職員配置加算（50対1）の有無（該当に○） 有 ・ 無

看護補助者配置加算（25対1）の届出区分（該当に○） 有 ・ 無

○1日平均入院患者数〔A〕 _____ 人（算出期間 年 月 日 ~ 年 月 日）

① 月平均1日当たり看護配置数 _____ 人

② 看護職員中の看護師の比率 _____ %（月平均1日当たり配置数：看護師 人）

③ 平均在院日数 _____ 日（算出期間 年 月 日 ~ 年 月 日）

④ 夜勤時間帯（16時間） _____ 時 _____ 分 ~ _____ 時 _____ 分

⑤ 月平均夜勤時間数〔(D-E) / B〕 _____ 時間

⑥ 月平均1日当たり看護補助者配置数 _____ 人（看護補助者配置加算を届け出る場合に記載）

看護要員数(常勤換算数) 看護師 _____ 人 准看護師 _____ 人 看護補助者 _____ 人

勤務計画表

| 種別 ^{※1} | 番号 | 病棟名 | 氏名 | 雇用・勤務形態 ^{※2} | 夜勤の有無 | | 日付別の勤務時間数 ^{※5} | | | | | 月勤務時間数 (延べ時間数) | (再掲)夜勤専従者及び月16時間以下の者の夜勤時間数 |
|-------------------------|----|---------------------------------|----|-----------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------|---------|-----------------|-----|--------|-------------------|----------------------------|
| | | | | | (該当するつに○) ^{※3} | 夜勤従事者数 ^{※4} | 1日 曜 | 2日 曜 | 3日 曜 | ... | 日 曜 | | |
| 看護師 | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| 准看護師 | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| 看護補助者 | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| | | | | 常勤・短時間・非常勤・兼務 | 有・無・夜専 | | | | | | | | |
| 夜勤従事職員数の計 | | | | | | [B] ^{※4} | 月延べ勤務時間数の計 | | | | | [C] | |
| 月延べ夜勤時間数 | | | | [D-E] | | 月延べ夜勤時間数の計 | | | | | [D] | [E] | |
| 1日看護配置数 ^{※6} | | [(A/届出区分の数 ^{※7}) × 3] | | | | 月平均1日当たり看護配置数 | | | [C / (日数 × 8)] | | | | |
| 夜間看護配置数 ^{※6※7} | | A / 12 | | | | 月平均1日当たり夜間看護配置数 ^{※7} | | | [D / (日数 × 16)] | | | | |

〔看護職員配置加算を届け出る場合の看護職員数の算出方法〕

| | |
|--|--|
| 1日看護配置数 ^{※6} （基準値）〔F〕 ^{※8} | $[(A/13) \times 3]$ |
| 月平均1日当たり看護配置数（実測値）〔G〕 | $[\text{看護職員のみ}のC / (\text{日数} \times 8 \text{ (時間)})]$ |
| 月平均1日当たり当該入院料の施設基準の最小必要人数以上の看護職員配置数看護職員数 | $\{[\text{看護職員のみ}のC] - ([F] \times \text{日数} \times 8 \text{ (時間)})\} / (\text{日数} \times 8 \text{ (時間)})$ |

〔看護補助者配置加算を届け出る場合の看護補助者の算出方法^{※9}〕

| | |
|--|--|
| 看護補助者のみの月延べ勤務時間数の計（実測値）〔H〕 | 〔看護補助者のみのC〕 |
| みなし看護補助者の月延べ勤務時間数の計（実測値）〔I〕 | $[\text{看護職員のみ}のC] - [[F]^{\text{※8}} \times \text{日数} \times 8 \text{ (時間)}]$ |
| 〔I〕のうち、看護職員配置加算を届け出る場合 | $- [[(A/50) \times 3]^{\text{※6}} \times \text{日数} \times 8 \text{ (時間)}]$ |
| 〔I〕のうち、看護職員配置加算を届け出ない場合 | $[\text{看護職員のみ}のC] - [[F]^{\text{※8}} \times \text{日数} \times 8 \text{ (時間)}]$ |
| 1日看護補助配置数 ^{※6} （基準値）〔J〕 | $[(A/25) \times 3]$ |
| 月平均1日当たり看護補助者配置数（みなし看護補助者含む） | $[H + I / (\text{日数} \times 8 \text{ (時間)})]$ |
| 月平均1日当たり看護補助者配置数（みなし看護補助者除く）〔K〕 | $[H / (\text{日数} \times 8 \text{ (時間)})]$ |
| 看護補助者（みなし看護補助者を含む）の最小必要数に対する看護補助者（みなし看護補助者を除く）の割合（％） | $[(K/J) \times 100]$ |

〔記載上の注意〕

- ※1 看護師及び准看護師と看護補助者を別に記載すること。なお、保健師及び助産師は、看護師の欄に記載すること。看護部長等、専ら病院全体の看護管理に従事する者及び病棟勤務と当該保険医療機関附属の看護師養成所等の専任教員、外来勤務、手術室勤務又は中央材料室勤務等とを兼務しない看護要員の数及び勤務時間は除くこと。
- ※2 短時間正職員が病棟勤務する場合は雇用・勤務形態の短時間に、病棟と他部署等との兼務または専任の看護職員が病棟勤務する場合は雇用・勤務形態の兼務に○を記入すること。
- ※3 夜勤専従者は、夜専に○、夜勤時間帯の勤務が月16時間以下の者及び月12時間未満の短時間正職員は、無に○を記入すること。
- ※4 夜勤有に該当する者について、夜勤を含めた交代勤務を行う常勤者（夜勤専従者は含まない）は1を記入し、病棟兼務、非常勤職員及び短時間正職員の場合は、1か月間の病棟勤務の実働時間を時間割比例計算した数を記入すること。看護職員と看護補助者の勤務計画表をわけて作成しても差し支えない。
- ※5 上段は日勤時間帯、下段は夜勤時間帯における所定の勤務時間数をそれぞれ記入すること。
- ※6 小数点以下切り上げとする。
- ※7 月平均1日当たり夜間看護配置数、夜間看護配置数は参考値であり、実際には日々の入院患者数により、必要となる夜間看護配置数は異なる。
- ※8 届出区分の数である13対1の「13」で計算するが、注2の届出を行う場合にあっては、15対1の「15」で計算すること。
- ※9 看護補助者配置加算の届出に必要な看護補助者の最小必要数の5割未満をみなし看護補助者とすることができる取扱いは、平成27年3月31日までとなるため、平成27年4月1日以降に看護補助者配置加算を算定するために届け出る場合の看護補助者の算出方法は、「看護補助者の月延べ勤務時間数の計（実測値）〔H〕」、「1日看護補助配置数^{※6}（基準値）〔J〕 $[(A/25) \times 3]$ 」、「月平均1日当たり看護補助者配置数〔K〕 $[H / (\text{日数} \times 8 \text{ (時間)})]$ 」のみを用いること。

〔届出上の注意〕

- 1 届出前1ヶ月の各病棟の勤務計画表（勤務実績）及び2つの勤務帯が重複する各勤務帯の申し送りの時間が分かる書類を添付すること。